

庄南っ子

家庭学習としての読書活動

教務主任 紫藤 哲也

子供たちが学力をきちんと身に付けていくためには、学校での学習はもちろんですが、家庭における学習も大切です。そこで本校では、「家庭学習ノートを毎日1ページ以上書いてくること」を子供たちと約束しています。本年度は、特に、「予習や復習」「社会科や理科の調べ学習」「教科書等で紹介されている発展学習」等、学校で学んだことを生かす家庭学習に取り組むことや家庭での学習時間(学年×10分以上学習すること)に重きを置いて指導しています。

4月からの子供たちの様子を見ると、家庭学習の時間については、まだまだ十分とは言えない状況です。そこでお勧めしたいのが、『家庭学習の手引き』で紹介されている「読んだ本の感想を書く」という活動です。もちろん、毎日1冊の本を読んで感想を書きなさいということではありません。10分とか15分とか時間を決めて読書に取り組み、その日に読んだ分について、内容をまとめたり感想を書いたりするということです。

このような読書活動を繰り返し継続していくことで、子供たちの国語力を伸ばさせていくことができると考えます。毎日の家庭学習を時間いっぱいがんばることを契機に、次の日の学校での学習がより意欲的になり、子供たちの学力が定着することを願っています。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

横割り清掃、がんばっています

清掃指導担当 上田 幸子

耐震改修工事に伴い、6月以降、同じ学年の子供たちのグループで取り組む横割り清掃を取り入れています。音楽が鳴り終わるまでに集合し「お願いします」という元気な挨拶で掃除が始まります。清掃時間は15分間。終わりの音楽がなったら後始末です。反省会をし「ありがとうございました」と終わりの挨拶をして掃除が終了します。

今年度は

①時間を守って掃除をする。②正しい掃除の仕方を身に付ける。③静かに掃除をする。の3点を重点目標にし、仕事を分担し協力し合って、精一杯掃除をする姿を目指しています。

「学校のごみをゼロにしよう委員会」の子供たちの提案で、6月9日(月)から13日(金)まで「掃除ほめほめ週間」が実施されました。掃除の開始時刻に遅れず、15分間しゃべらないで掃除をした子供には、委員会からの賞状が渡されています。1年生から6年生まで、静かに真剣に掃除に取り組む様子がたくさん見られ感心しました。

こうした活動を通して、地域でもみんなのために進んで働き、人の役に立つ喜びを知る庄南っ子に育ててほしいと願っています。



